

NOWPAP主催国際海岸クリーンアップキャンペーン (International Coastal Cleanup(ICC))

平成18年9月
外務省

1. 概要・意義

- (1) 昨秋に我が国で開催された第10回政府間会合にて、海洋ゴミ問題に関し、ワークショップの開催やモニタリング計画の作成、クリーンアップキャンペーンの実施等を内容とするプロジェクトを地方自治体やNGOと協力して進めていくことが合意された。
- (2) 同合意をふまえ、我が国が財政面も含めてイニシアチブをとり、NOWPAP主催の国際海岸クリーンアップキャンペーン(International Coastal Cleanup(ICC))事業を、酒田市(山形県)にて行う予定。
- (3) この事業を、国際的な発生源対策としてのNOWPAP参加国の自治体・NGO連携の足がかりとしたい(今次キャンペーンにおいても、山形県、酒田市、J E A N等の協力を得る予定)。

2. 日時

- 9月29日 海洋ゴミに関する国際ワークショップ
30日 海岸におけるICCキャンペーンの体験、海岸清掃

3. 参加者

NOWPAP参加国(日・中・韓・露)の政府・自治体・NGO等の関係者。

4. 次年度以降の展開について

国際的な意識啓発と人材育成を図るこの事業を、来年度以降も継続的に実施していくため次年度予算要求を行う予定。

(参考) 国際海岸クリーンアップキャンペーン(International Coastal Cleanup(ICC))

1. アメリカの環境NGO「オーシャン・コンサーバンシー」が、海のゴミ問題に世界規模で取り組むため、1986年から展開している海岸のゴミ調査とクリーンアップ活動。2004年には、88か国から約30万人の人々が参加している。

2. 我が国では1990年以降、全国クリーンアップ事務局(Japan Environmental Action Network: J E A N)が中心となり同キャンペーンを展開。韓国でもNGO等による同キャンペーンへの参加が開始された段階にあり、今後日韓の協力も進みつつあるが、中国及びロシアでは同キャンペーンは今のところ実施されていない。

北西太平洋地域海行動計画

(NOWPAP : North-West Pacific Action Plan)

平成 18 年 9 月
外 務 省

1. 経緯

- (1) 1974 年、国連環境計画 (UNEP) が、閉鎖性水域の海洋汚染の管理、海洋及び沿岸域の資源の管理を目的とした地域海計画を提唱。
- (2) 1994 年、北西太平洋地域 (日本海及び黄海) に関し、日、中、韓、露が参加した第 1 回政府間会合が開催され (於ソウル)、北西太平洋地域海行動計画 (NOWPAP) が採択された。

2. 活動形態

- (1) 1999 年、第 4 回政府間会合において、NOWPAP の事業拠点となる 4 つの地域活動センター設置を決定。以下の各付託事項に従い事業を実施。
 - (a) 中国 : データ情報ネットワーク
 - (b) ロシア : 大気汚染モニタリング
 - (c) 韓国 : 海洋環境緊急時対応
 - (d) 日本* : 特殊モニタリング・沿岸環境評価

* (財) 環日本海環境協力センター (環境省主管の公益法人、所在地 : 富山県)
- (2) 従来、UNEP 本部が NOWPAP の暫定事務局として業務を行ってきたが、2005 年 1 月、事務局機能を担う地域調整部 (RCU : Regional Coordination Unit ; 所在 : 富山及び釜山) が活動を開始。上記 4 つの地域活動センターを統括・調整している。

3. 活動の実績・計画

- (1) NOWPAP 地域油流出緊急時計画の策定
- (2) 海洋漂着ゴミについての取組の開始

(了)